

市民活動支援センター

愛称：はんだまちづくりひろば

市民活動情報



市民“活”動やボランティア“活”動をはじめとするさまざまな社会貢献“活”動が、“どん”どん広がって、半田市がいきいきと暮らしやすいまちになるよう、市内で行われている取組を紹介します。みなさんも無理をせず身近なできることから始めてみませんか。

市民活動・ボランティア活動に関する相談窓口

- 【相談窓口】 市民交流センター(クラシティ 3階)
- 【開所時間】 月曜日～土曜日 9時～17時15分
- 【休館日】 毎月第4水曜日(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日～1月4日)

☎32-3440

E-mail
machihiro@city.handa.lg.jp

取組紹介：ボランティアと共に盛り上げた第九回はんだ山車まつり

10月28日(土)、29日(日)に、はんだ山車まつりが6年ぶりに開催されました。市内10地区から31輦の山車が勢揃いとなり、市内外から多くの観客が来場され、賑わいを見せました。

はんだ山車まつりを運営するにあたって、ボランティアの方々の力なくしては成り立ちません。今回のはんだ山車まつりのボランティアとして、設置されたごみ箱でのごみの分別や巡回清掃を行う「クリーンボランティア」、外国籍の方への通訳を行う「語学ボランティア」、気分の悪くなった方やケガ人等の救護を行う「救護ボランティア」、はんだ山車まつりの公認グッズの販売補助を行う「公認グッズブースボランティア」、手話通訳を行う「手話ボランティア」等があり、計約1,000名もの



▲公認グッズブースボランティア

ボランティアの参加がありました。参加されたボランティアには、市民はもちろん市外の方や、市民活動団体、学生、事業者など、様々な立場の方がいらっしゃいました。

ボランティア活動の中では、ボランティア自らが創意工夫をして活動に取り組む姿が多くあり

ました。その一つが、使用済みの空き缶と紙コップ、ガムテープで作成した串・割り箸入れの設置です。串・割り箸のごみを他の可燃ごみと一緒にごみ袋へ入れると、ごみ袋が破れ、ごみが散乱したり、運搬の際にヒヤヒヤすることがありました。そこで、可燃ごみ箱の横に串・割り箸用の入れ物を別に作ることで、ごみ袋の破れやごみの漏れがなくなりました。



▲グリーンボランティア

来場された観客の方からは、「ボランティアの方から声を掛けられ、ごみを回収していただくことがあった。はんだ山車まつりというイベントとしての素晴らしさだけでなく、ボランティアの方の素晴らしさも体感でき、半田市の様々な魅力を知ることができた。」との声がありました。

様々な立場の方が協働し、ボランティアに取り組んでいただけたおかげで、来場された観客をおもてなしすることができ、改めてボランティアの方々が持つ力を感じることができました。